

青パト活動を応援する情報発信マガジン

ビッグ★ブルー

第3号

平成25年5月10日発行
発行：山形県警察本部

地域の防犯と子どもの安全・安心を守る ～南陽市・南陽市防犯協会・南陽市防犯協会赤湯支部～

【南陽市・南陽市防犯協会の取り組み】

南陽市では、地域の防犯と子どもの安全・安心を守るため、平成18年3月から、各地区（8地区）の公民館公用車を青色回転灯装備車（青パト）として登録し、市防犯協会及び青少年育成推進員の協力により、防犯協会の支部単位で、夕方を主にした定期的な青色防犯パトロールを実施しております。

「地域の安全は地域で守る」、「子どもは地域の大切な宝」との思いから、各地区では小学生の登下校時に合わせた子ども見守り活動が行われ、その活動が定着してくるなか、市防犯協会では自主防犯パトロールの推進と強化に取り組んできました。平成23年度からは、青色防犯パトロール講習会を年2回開催（前年までは年1回）し、より多くの関係者にパトロール実施者証を取得していただき、青色防犯パトロールに参加していただけるよう環境づくりを行っています。

自ら青パトの実施団体の登録を行い、役員の車両を青パトに登録して地域の自主防犯パトロールに使用する防犯協会の支部が増えていることから、市防犯協会では、今後も支部単位での実施団体の登録と青パトの登録を推進していく予定です。



（文～南陽市危機管理課長 相澤和吉）

安全・安心な地域づくりと防犯活動の多様化に貢献していく



【南陽市防犯協会赤湯支部の取り組み】

赤湯地区は温泉とぶどうの産地として知られ、合わせて幹線国道が交差している等、年間を通じて観光客と交通量が多い地区です。そのような事からも防犯意識の向上など、更なる啓蒙活動の必要性が求められていました。

昨年、赤湯地区の自主防犯活動の一環として、青パトの実施団体の登録を行い、2台の車両を青パトとして登録しました。以来、児童生徒の登下校時の巡回や見守り活動、防犯意識啓蒙活動の強化に取り組んでおり、また、交通ルールの遵守にも一役かかっております。

今後は、青パト台数の増加を図ることで、より一層の安全・安心な地域づくりと防犯活動の多様化に貢献できるものと考えております。

（文～南陽市防犯協会赤湯支部長 古山重雄）

【編集後記】

新年度が始まり、ピカピカの1年生が笑顔で元気に登校する姿が見られるようになりました。子どもが安心して登下校できる環境を目指して、警察・小学校と連携したパトロールをよろしくお願いします。

【山形県内の青パト情勢】

（平成25年4月末現在）
団体数：85団体3,118名
青パト台数：1,036台